

おほとものすくねやかもち
大伴宿禰家持、
くにのみやこ
久邇京より坂上
さかのうへのおほをとめ
大嬢に贈る

歌五首

七七〇番

ひとめおほ
人目多み
あ
逢はなくのみそ
こころ
心さへ
いも
妹を忘れて
わ
我が思はなくに

七七一番

いつは
偽りも
につ
似付きてそする
うつしくも
まこと我
もこ
妹子
われ
我に恋ひめや

七七二番

いめ
夢にだに
み
見えむと我は
ほどけども
あひ
相し思は
ねば
うべ見えざらむ

七七三番

ことと
言問はぬ
き
木すらあぢさる
もろと
諸弟らが
ね
練りのむ
らとに
あやむ
詐かれけり

七七四番

ももちたひ
百千度
こ
恋ふと言ふとも
もろと
諸弟らが
ね
練りの言葉
は
われ
我は頼まじ